

# 四柱推命 入門書



## 【目次項目】

- 1.自分の命式（星）を調べる
- 2.十干（じっかん）について
- 3.十二支（じゅうにし）について
- 4.通変星（つうへんせい）について
- 5.十二運星（じゅうにうんせい）について
- 6.天中殺（てんちゅうさつ）について

# 1.自分の命式（星）を調べる

四柱推命とは、太古の中国で生まれた「陰陽五行説」を応用し日本で伝承されてきた占い**陰陽五行説**：易経（陰と陽2つの要素から成り立つという理論）と、五行説（万物は木・火・土・金・水の5つの要素から成り立つという理論）を組み合わせたもの。年、月、日、時間の4つを8字で占うことから「八字」（はちじ、パーツー）とも言われています。鳥海流は、算命学寄りの四柱推命で時間がなくても占えるように三柱になっています。（算命学は三柱で占います）

まずは、下記の無料サイトから自分の「命式」を出してみましょう。

→ <http://sendo.or.jp/ex/suimei/>

（一般社団法人日本占道協会の公式サイトへ飛びます）

天中殺	日柱	月柱	年柱	
寅卯 辰巳	恋愛運	仕事運	社交面	
	-土 己酉 -金	+土 戊子 +水	+金 庚子 +水	干支
	46	25	37	
	辛	癸	癸	蔵干
		劫財	傷官	通変星
	食神	偏財	偏財	蔵干通変星
	長生	絶	絶	十二運星
11	9	1	1	運勢エネルギー

※時間はなくても算出されます。

この「命式」を元に、自分の星を読んでいきましょう。

※命式とは生年月日から「干支暦」を利用し算出されます（現在は太陽暦）

干支とは、空間を表す10個の「干（かん）」と、時間を表す12個の「支（し）」を組み合わせでできたものです。10個の干で「十干（じっかん）」、12個の支で「十二支（じゅうにし）」と読みます。

## 2.十干について

空間を表す「干（かん）」は10種類あり、「十干（じっかん）」と呼びます。十干は自然界のものに例えられます。

日柱の十干（赤く囲った部分）は「自然界の役割」を読んでいきます。

天中殺	日柱	月柱	年柱	
寅卯 辰巳	恋愛運	仕事運	社交面	
	-土 己酉 -金	+土 戊子 +水	+金 庚子 +水	干支
	46	25	37	
	辛	癸	癸	蔵干
		劫財	傷官	通変星
	食神	偏財	偏財	蔵干通変星
	長生	絶	絶	十二運星
11	9	1	1	運勢エネルギー

それぞれの自然界をイメージしたものが【その人の性格】、【その人が目指していく成長の方向性】として現れています。

十干が表す自然界の象徴

木		火		土		金		水	
+	-	+	-	+	-	+	-	+	-
甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸
きのえ	きのと	ひのえ	ひのと	つちのえ	つちのと	かのえ	かのと	みずのえ	みずのと
樹木	草花	太陽	月	山	大地	剣	宝石	海	雨

「え」とは兄を表し、「と」とは弟を表しています。  
 例えば「きのえ」は木の兄、「きのと」は木の弟、ということです。  
 「干支」を「えと」と読むのは、この「兄弟」（えと）に由来します。

例えば、甲（きのえ）は樹木を表します。樹木は真っ直ぐ空へゆっくり成長します。

そのため、性格に現れると「曲がったことが嫌い」、上に成長するため「向上心がある」、成長がゆっくなため「マイペース」のようなイメージになるかもしれません。

他にもいろいろなイメージがあるかと思います。

今あげたものに当てはまるかもしれないし、全て当てはまらないかもしれません。もしくは、違うイメージがしっくりくることもあるでしょう。その場合は当てはまるイメージが成長の方向性を表していると考えてみましょう。

成長の方向性として考えると「目標に向けて邁進する」「向上心を持つ」「マイペースを守る」ことが必要になるかもしれないと解釈できそうですね。

樹木をイメージして出てくる「キーワード」を人に当てはめて考えてみると、その人が成長していくために意識していくことが見えてきます。

このように四柱推命に限らず、どんな占いであってもこれという「決まった答え」はありません。自分が「より成長し幸せになるために何が大切なのか」のヒントを読み解くことが必要です。ここでは、それぞれイメージする際によくあるキーワードをご紹介します。ご自分のイメージするものと合わせて参考に見て下さい。

	キーワード
樹木	一本気、真面目、大器晩成、頑固
草花	芯が強い、粘り強い、社交的、柔軟性
太陽	根が明るい、人気者、サービス精神旺盛、自己中心
月	細やか、秘密主義、妖艶、二面性・小悪魔
山	温厚、おおらか、登山などで人が集まる、動かない
大地	育てる、時に感情的、努力家、マメ
剣	強い信念、頑固、現実主義、スピード感
宝石	繊細、高い美意識、高貴、デリケート
海	ダイナミック、エネルギッシュ、自由、器が大きい
雨	内向的、謙虚、縁の下の力持ち、順応性がある

### 3.十二支について

時間を表す「十二支」は季節を表します。

天中殺	日柱	月柱	年柱	
寅卯 辰巳	恋愛運	仕事運	社交面	
	-土 己酉 -金	+土 戊子 +水	+金 庚子 +水	干支
	46	25	37	
	辛	癸	癸	蔵干
		劫財	傷官	通変星
	食神	偏財	偏財	蔵干通変星
	長生	絶	絶	十二運星
11	9	1	1	運勢エネルギー

十二支	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌
五行	水-	水+	土-	木+	木-	土+	火-	火+	土-	金+	金-	土-
月	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
四季	冬			春			夏			秋		

立春、立夏、立秋、立冬の前の役18日間を土曜と言います。

先ほどの十干が表すものと、十二支の季節を組み合わせ考えてみましょう。

例えば、上の図で見ると「己酉」は「大地」と「秋」です。秋の大地となります。秋の大地には沢山の実りがあり、実りの秋をイメージすることができます。

では、「丙子」はどうでしょう。

「丙子」は「太陽」と「冬」です。冬の低い位置にある太陽となります。真夏とは違い、寒い冬の少し柔らかめな光のイメージが出来るのではないのでしょうか。

また「丙」は太陽を表しますが、冬と真夏の太陽や朝方、真昼、夕方の太陽でそれぞれイメージが違って来るかと思えます。

このように同じ十干でも、季節や時間帯によってイメージが変化します。  
組み合わせでイメージを膨らませることでよりマッチした内容となります。

## 4.通変星について

通変星は「性格」「才能」「恋愛傾向」「結婚観」「向いている仕事の内容」「向いている仕事のスタイル」「第一印象」など幅広くみることができます。

この通変星は、組み合わせや星の数などにより意味が変わったり、意味が強まったり、逆に意味が薄まったりすることもあるため、ひとつだけではなく命式全体を見て判断していきます。

天中殺	日柱	月柱	年柱	
寅卯 辰巳	恋愛運	仕事運	社交面	
	-土 己酉 -金	+土 戊子 +水	+金 庚子 +水	干支
	46	25	37	
	辛	癸	癸	蔵干
		劫財	傷官	通変星
	食神	偏財	偏財	蔵干通変星
	長生	絶	絶	十二運星
11	9	1	1	運勢エネルギー

通変星は5種類のグループに分かれ、合計で10種類の星があります。

自立星		遊星		財星		官星		印星	
自立心		遊び心		人脈（金脈）		行動力		知性	
比肩 (ひけん)	劫財 (ごうざい)	食神 (しょくじん)	傷官 (しょうかん)	偏財 (へんざい)	正財 (せいざい)	偏官 (へんかん)	正官 (せいかん)	偏印 (へんいん)	印綬 (いんじゅ)

上記表の同じ色で隣り合っている星は「兄弟」と呼びます。（比肩と劫財は兄弟）  
命式内に同じ星が2つ3つある場合、兄弟星に変化していると見る場合があります。

（人によって異なります）

（比肩が3つある場合、比肩と劫財、両方の意味を持つ可能性があります）

通変星は「性格」「才能」「恋愛傾向」「結婚観」「向いている仕事の内容」「向いている仕事のスタイル」「第一印象」などを読んでいくということは先ほど述べましたが、特に通変星は「印象」として現れやすく、蔵干通変星は「内面」「性格」に現れやすいとされています。また、月柱の蔵干通変星は「主星」、日柱の蔵干通変星は「自星」と呼び、特に強く現れやすい部分です。

	キーワード
比肩（ひけん） （自立と自尊心）	職人氣質、自分看板、努力家、自分軸、努力家、1人の時間が好き、尊敬する人の話以外聞かない
劫財（ごうざい） （勝負と意志力）	社交性、計算、策士、損得に敏感、勝つために頑張る、目標がないと迷う、ライバルの存在で成長する
食神（しょくじん） （遊びと豊かさ）	おおらか、のんびり、競争が嫌い、食べる、寝る、遊ぶがとても大切 駆け引きが苦手
傷官（しょうかん） （センスと専門技術）	繊細、技術、細かい、直感が鋭い、本質を見抜く、傷つきやすい 女性は美人で少々毒舌
偏財（へんざい） （人脈と気遣い）	場に合わせる、気が利く、断るのが苦手、人と関わるのが好き、回転財、 ♡男性にとっては恋愛の星
正財（せいざい） （努力と蓄財）	職人氣質、自分看板、努力家、自分軸、努力家、1人の時間が好き、尊敬する人の話以外聞かない、♡男性にとっては結婚の星
偏官（へんかん） （野生と行動）	親分肌、行動的、面倒見がいい、セールス上手、情にあつい ♡女性にとっては恋愛の星
正官（せいかん） （信用と責任）	社会貢献、プライド、年上を敬う、世間体を気にする、正義感が強い ♡女性にとっては結婚の星
偏印（へんいん） （自由とアイデア）	好奇心旺盛、変化、アイデア力、海外、人が知らない知識を知りたい 効率の良さ、人と同じは嫌
印綬（いんじゅ） （学問と名誉）	学問、教育、優しい、母親と縁が深い、教えることが得意、頭の悪い人が嫌い、物事を丁寧に観察、分析が得意

持っていない星の「性格」はいまいち理解できなかつたりします。

「何でそんなに細かいことを気にするんだろう」と思う相手は傷官を持っているのかもしれませんが。「そんなに細かいこと気にしなくてもいいじゃん!」と言ったところで気になるものは気になるのです。

「一人一人、性格や捉え方は違う」と頭ではわかっているけど、一緒に暮らしている家族のこととなると「何でわからないの!？」なんて思ってしまうことがあるかもしれません。このように持っている星、持っていない星を確認することで改めて「一人一人の違い」を認識できますね。

自分の持っている星の性質を知り認めていくことで星を活かすことが出来ます。そして普段から星を意識することでより使えるようになっていきます。

美味しいものを食べたら食神が喜んでるなとか  
人に邪魔されず自分の時間を大事にしたいと思ったら比肩の性質がでてるんだとか  
考えるより先に身体が動いちゃうのは偏官の性質がでてるんだとか  
そんな風に意識して自分を観察すると俯瞰した目線で自分の事を見ることが出来ます。

周りの人もそんな目線で見てみると冷静に観察することが出来るようになって相手の事も自分と同じように認めることが出来るようになっていくと思います。



	《恋愛傾向》
比肩（ひけん） （自立と自尊心）	尊敬できないと好きになれない、一人の時間が大事で束縛はNG
劫財（ごうざい） （勝負と意志力）	男性は社会的成功の後押しになるような関係、女性は華やかさを好む
食神（しょくじん） （遊びと豊かさ）	駆け引きが苦手、食と遊びの感覚が合うかが重要
傷官（しょうかん） （センスと専門技術）	男性は繊細で傷つきやすい、女性は弁が立ち男性を追い詰めてしまう
偏財（へんざい） （人脈と気遣い）	多趣味で気遣いが出来、友達の多い人が好き
正財（せいざい） （努力と蓄財）	女性は良妻賢母になれ、男性は結婚を前提とした付き合いをする
偏官（へんかん） （野生と行動）	変わり者を好きになる、面戸実が良く世話をし過ぎてしまう
正官（せいかん） （信用と責任）	マイルールや枠を作り自分も苦しくなってしまう
偏印（へんいん） （自由とアイデア）	自由でいたい、束縛は耐えられない
印綬（いんじゅ） （学問と名誉）	好きになると母性的で尽くしてしまう

	《身につけると良い力》
比肩（ひけん） （自立と自尊心）	困難があっても突き進む力
劫財（ごうざい） （勝負と意志力）	計画性、策士力
食神（しょくじん） （遊びと豊かさ）	天真爛漫さ
傷官（しょうかん） （センスと専門技術）	鋭い直感力、感性
偏財（へんざい） （人脈と気遣い）	コミュニケーション能力
正財（せいざい） （努力と蓄財）	誠実さ、積み上げる力
偏官（へんかん） （野生と行動）	実行力、直感力、強引さ
正官（せいかん） （信用と責任）	誠実さ、プライド
偏印（へんいん） （自由とアイデア）	知的好奇心
印綬（いんじゅ） （学問と名誉）	知性、慈悲心

## 5.十二運星について

十二運星は、「性格」「働き方」「才能」「エネルギー」「生き方」などが表れ。通変星の補助、または抑制をしている場合もあるので、車に例えるとエンジンのようなイメージにもなるため、総合的に命式を判断するのにも重要な星です。

天中殺	日柱	月柱	年柱	
寅卯 辰巳	恋愛運	仕事運	社交面	
	-土 己酉 -金	+土 戊子 +水	+金 庚子 +水	干支
	46	25	37	
	辛	癸	癸	蔵干
		劫財	傷官	通変星
	食神	偏財	偏財	蔵干通変星
	長生	絶	絶	十二運星
11	9	1	1	運勢エネルギー

十二運星は人の一生（胎児として命が始まり、死後の魂があのお世へ還るまで）を表しています。その時の状態をイメージしたものがその人の「性格」「働き方」「才能」「エネルギー」「行動パターン」として現れます。

文字的に怖いイメージの漢字もありますが、「病」があるから早く病気になるとか、「死」があるから早くに死んでしまうということではありません。

胎（たい）	胎児
養（よう）	赤子
長生（ちょうせい）	幼児
沐浴（もくよく）	少年
冠帯（かんだい）	生年
建禄（けんろく）	壮年
帝旺（ていおう）	頭領
衰（すい）	老人
病（びょう）	病人
死（し）	死人
墓（ぼ）	入墓
絶（ぜつ）	あのお世

また、「どうぶつ占い」の元になったのがこの十二運星です。  
 どうぶつ占いでは、日柱の十二運星で占います。それぞれの星の特徴と一緒にご紹介します。

	どうぶつ占い	特徴
胎 (たい)	オオカミ	多芸多才、変化を好む、新規開拓
養 (よう)	コジカ	素直、可愛がられる、甘えん坊
長生 (ちょうせい)	サル	習得、上品、信用
沐浴 (もくよく)	チーター	本能、恋愛、外国
冠帯 (かんたい)	黒ヒョウ	独立精神、感情豊か、社交性
建禄 (けんろく)	ライオン	継承、発展、完璧主義
帝旺 (ていおう)	トラ	カリスマ、統率、頑固
衰 (すい)	たぬき	知識豊富、慎重
病 (びょう)	コアラ	空想、夢、イマジネーション豊か
死 (し)	ゾウ	神通力、ヒラメキ、靈感
墓 (ぼ)	ヒツジ	探求心、凝り性、保守的
絶 (ぜつ)	ペガサス	気分にもラ、考えが変わりやすい

### <身強って?>

十二運星の中でも「冠帯・建禄・帝旺」の事を身強と呼びます。  
 身強の星を選んで生まれてきた人はパワフルで上昇志向。  
 カリスマ性があり良くも悪くも目立ちやすい傾向にあります。  
 身強の星を活かすには自分の欲を自覚して叶えていくことがポイントになります。

### <スピリチュアルな星?>

死・胎・沐浴はスピリチュアルな星とされています。  
 小さいころから何か見えたり、感じたりという人が多いのが死  
 木や妖精とお話しているのが多いのが沐浴  
 なぜか知っていたり夢で見たりするのが胎  
 という傾向があります。

十二運星はそれぞれエネルギーを持っており、数値の合計数によりエネルギーの位置を読み解くことができます。合計値は「3」～「36」までです。  
 ※帝旺という星のみエネルギー値が12～20で変動することがあります。

天中殺	日柱	月柱	年柱	
寅卯 辰巳	恋愛運	仕事運	社交面	
	-土 己酉 -金	+土 戊子 +水	+金 庚子 +水	干支
	46	25	37	
	辛	癸	癸	蔵干
		劫財	傷官	通変星
	食神	偏財	偏財	蔵干通変星
	長生	絶	絶	十二運星
	11	9	1	運勢エネルギー

エネルギー数値が「3」に近い人は「精神的な世界」で才能を発揮し、「36」に近い人は「現実的な世界」で才能を発揮しやすい傾向にあります。

同じビジネスでも、「3」に近い人は「精神的な目標」があった方がより力を発揮しやすかったり、「36」に近い人は「現実的な目標」（数値等）があった方がより力を発揮しやすかったりします。

<スペシャリストタイプ> 10以下

自分自身と向き合って一つの事に集中することが得意。  
 アーティスト、研究職など感性を必要とする仕事が向いている。

< balanサータイプ > 15前後

俯瞰して物事をとらえることが得意で組織の中で調和を取る役割が向いている。

<ゼネラリストタイプ> 20以上

好奇心とチャレンジ精神が旺盛。自分が主役になれる環境で活動することが向いている。  
 晩婚傾向。

## 6.天中殺について

天中殺では、「苦手とするもの」「克服すべきもの」「開運方法」などがわかります。通変星や十二運星と真逆の場合、星の意味を抑制している場合もあります。

天中殺は6つのグループに分類され、それぞれについてご紹介します。

天中殺	日柱	月柱	年柱	
寅卯 辰巳	恋愛運	仕事運	社交面	
	-土 己酉 -金	+土 戊子 +水	+金 庚子 +水	干支
	46	25	37	
	辛	癸	癸	蔵干
		劫財	傷官	通変星
	食神	偏財	偏財	蔵干通変星
	長生	絶	絶	十二運星
11	9	1	1	運勢エネルギー

※下の段の「辰巳」は読みません

	苦手なもの	開運方法
戌亥天中殺	悩みを吹っ切ること	人生の目標・指針を持つ
申酉天中殺	人間関係	内面を充実させる
午未天中殺	物事の区切りをつけること	失敗を恐れない
辰巳天中殺	気持ちの安定	経験を積むための挑戦
寅卯天中殺	広い視野を持つこと	ビジョンを持つ
子丑天中殺	決断力	自立する勇気

「四柱推命の教科書」をお読みいただき、ありがとうございます。

四柱推命は太古の中国で生まれた「陰陽五行思想」という自然哲学を応用して生まれました。「陰陽」とは表と裏のことです。太陽と月、光と影のように全てのものに表と裏が存在する、という考え方です。ただし、陰と陽はハッキリと別れていて表と裏を表しているわけではありません。



左の図を見たことがあるでしょうか？  
左の図のように1つのものに同時に存在しています。

どちらが良いと言うことではなく、陰と陽は隣り合っており「今、ちょうどその状態にある」という事なのです。  
四柱推命ではどちらかに偏ることなくバランスが取れた状態が一番良いとしています。

つまり、今がもしあまり良い人生だと感じていなくても、ちょうどどのような状態にあるだけで、それが全てではなく、先に人生には改善するという事です。  
幸せという概念は人それぞれ違います。  
幸せに暮らしている人はきっと自分の持っている星に正直に生きることで満足感を味わっている人なのだと思います。  
そのためにも、自分の星を理解する事で、自分の表と裏を知り、今まで気付かなかった可能性を発見することで人生をより幸せに生きるためのヒントを得られるはずです。

現代の人の悩みの90%程度は人間関係が原因と言われています。  
確かに恋愛に関しても大きく言えば人間関係ですよね。  
自分を知り、他人を知ることで現代人における不安や悩みのほとんどは解決できると考えています。

有名な占い師の方も「人に運気の流れはある」とおっしゃっています。  
地球には自転や重力の影響で磁場があります。地球上に生まれてきている以上、その影響は受けて当然なのです。  
その自然の力を反映し膨大な量の統計を駆使した四柱推命が「占いの帝王」と呼ばれ高い的中率を誇ることも納得がいくかと思います。

そんな四柱推命を活用していただくことで星の特性や性質を知ることが出来、様々な人間関係で相手を理解するためのツールとして使っていただければ幸いです。

四柱推命は活用することで力を発揮するということをご理解いただいたうえで楽しんでいただければ幸いです。

最後までお読みいただきありがとうございました。